

北海道大学理学院宇宙理学専攻（理学研究科物理学専攻・地球惑星科学専攻）

平成 18 年度修士論文発表会

開催日：平成 19 年 2 月 8 日 開催場所：理学部 6 号館 204(2) 号室

セッション 1 (9:10~10:25 座長：大石尊久・川崎貴博)

1. 大石 尊久 トランジット法による太陽系外惑星の観測
2. 佐野 正和 高次元時空とコンパクト化
3. 佐藤 創我 極域電離圏上部におけるイオン上昇流の観測
4. 大河原 好則 宇宙初期の銀河間空間中に存在するダストの宇宙背景輻射に及ぼす効果
5. 川崎 貴博 $PSU(1, 1|2)/U(1) \times U(1)$ 上の非線形 σ モデル

休憩 (10:25~10:45)

セッション 2 (10:45~12:00 座長：比嘉翔一・行方大輔)

6. 比嘉 翔一 真空蒸発実験による希土類酸化気体 (RO) の生成エンタルピーの決定と太陽系物質の起源の解明への応用
7. 佐々木 宏之 コンドライト組成液体の発泡現象による金属と珪酸塩の分別機構の解明
8. 米永 優介 超新星残骸中を伝播するリヴァース衝撃波によるダストの破壊
9. 青野 圭祐 モンテカルロ法による輻射輸送計算：ダスト雲による散乱光の強度分布と偏光度分布
10. 行方 大輔 銀河系の多重棒状構造による銀河中心へのガス供給と星形成の研究

休憩 (12:00-13:00)

セッション 3 (13:00-14:15 座長：照井洋光・渡邊祥正)

11. 照井 洋光 拡張テクニカラーモデルによるニュートリノ質量
12. 広瀬 佑介 還元的な組成を持つ水星の熱史と中心核ダイナモによる固有磁場生成の可能性
13. 花房 瑞樹 台風の温帯低気圧への変遷過程 ～2004 年台風 23 号の事例を中心に～
14. 保坂 啓太 CCS 及び NH_3 輝線観測による分子雲コアの構造に関する研究
15. 渡邊 祥正 棒渦巻銀河における分子ガス分布と星形成に関する研究

休憩 (14:15-14:35)

セッション 4 (14:35-15:35 座長：佐古孝介・吉野公二)

16. 佐古 孝介 地球化学的水循環とマントルの酸化還元度の進化
17. 山下 博史 量子相関の定量化と多体効果
18. 阿部 大志 複素座標スケーリング法による散乱問題とアルファクラスターモデルへの適用
19. 吉野 公二 RHIC における Jet-Fluid String 崩壊によるハドロン生成